

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2003-208719 (P2003-208719A)
 【公開日】平成 15 年 7 月 25 日 (2003.7.25)
 【出願番号】特願 2002-119740 (P2002-119740)
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 7/007
 G 1 1 B 7/24
 G 1 1 B 7/26
 G 1 1 B 11/105

【F I】

G 1 1 B 7/007
 G 1 1 B 7/24 5 6 1 Q
 G 1 1 B 7/24 5 6 3 A
 G 1 1 B 7/24 5 6 3 C
 G 1 1 B 7/24 5 6 5 A
 G 1 1 B 7/26 5 1 1
 G 1 1 B 11/105 5 2 1 F
 G 1 1 B 11/105 5 2 1 H
 G 1 1 B 11/105 5 4 6 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 3 月 18 日 (2005.3.18)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 9 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 9 0】

そして、光学記録再生媒体 10 からの反射光は、光ピックアップ 66、1/4 波長板 65 を再び經由して円偏光は S 偏光になり偏光ビームスプリッタ 64 に反射され、組み合わせレンズ 71 に入射させる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 9 2
 【補正方法】削除
 【補正の内容】

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 9 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 9 3】

ディテクタ 73 の A ~ H により出力される信号 A ~ H が、図示しないが所定の回路系において、以下のように加算減算処理されて所定の信号が出力される。この例においては、所定の間隔に配置して照射した上記 3 本のレーザ光を利用した差動プッシュプル (DPP : Differential Push-Pull) 方式によりトラッキングサーボ信号を得た。即ち、

光学記録再生媒体の再生信号 = (A + B + C + D)

ビット再生信号 (例えば E F M 信号) = (A + B + C + D)

プッシュプル信号 = (B + C) - (A + D)

差動プッシュプル (トラッキングサーボ) 信号

= (B + C) - (A + D) - k ((E - F) + (G - H))

(k は所定の定数)

とする。このような構成による光学記録再生装置により、以下の実施例において、上述の本発明構成による光学記録再生媒体の評価を行った。